



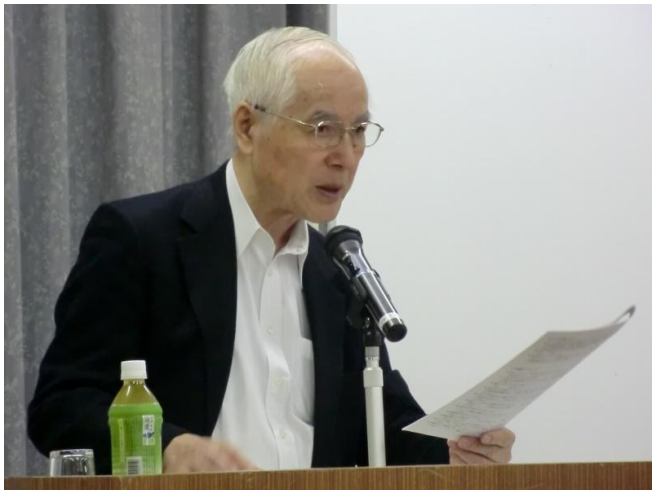
大野北公民館 利用協通信

学習会

「公民館を拠点とした住民の生涯学習」を終えて

学習会担当 犀川博正

10 月 27 日（土）、桜美林大学名誉教授 瀬沼克彰先生を招き、表記のテーマで講演して頂きました。ユーモアに富んだ語り口で次のようなお話をして頂きました。



1. 逆風下に置かれている生涯学習行政

文部科学省の予算は過去 10 年余りの間に 500 億円から 250 億円へと半減しています。東京都は人員が 3 分の 1 以下に、東京 23 区では生涯学習センターの運営を民間の住民団体が運営するようになり、NPO や株式会社へ委託しているところもあります。この背景には、国や自治体の財政悪化があります。東京都の立川市には公民館がありません。

2. 住民の役割の拡大

予算が削減されている一方では住民の学習意欲は高まっています。各種の講座を受講する人が増え、様々なグループ活動に参加する意欲が高まっています。それらのグループをけん引して指導する人材も多いのです。

3. 相模原市には

公民館が 23 もあり、それぞれ活発に活動しているようです。とりわけ大野北公民館は、管区内人口が多く、多くの人たちが積極的に利用しており、ほかの市町村が見習うべきです。



4. 公民館活動を盛り上げていくには

仲間どうし節度ある人間関係をたもつ配慮が大切です。また活動には予算も不可欠です。その予算を獲得するには活動を支援してくれる民間の基金を利用するのもいいでしょう。



視察研修事業

神奈川県温泉地学研究所などを見学

アロハウイ 榎本文子

11 月 16 日（金）、雪のかぶった富士山を眺めながら、小田原市入生田にある神奈川県立温泉地学研究所、生命の星・地球博物館を見学、研究員の方より説明を聞いて来ました。昨年 3 月、東北地方で起きた大地震。予知は不可能だったのでしょうか？

神奈川県内に震度計を 14 ヶ所設置してあり、体に感じない地震を含めて一年で千回以上、一日に 2、3 回、地震が起きているそうです。



専門的な難しい話もありましたが、断層と地すべり、マグニチュードと震度の違い等々、地震活動が活発になり改めて予知の難しさを知りました。災害に対する備えをと・・・体を硬くして話を聞いて来ました。

どうぞ、なまずの神様、今日も一日静かに穏やかに見守って下さいと願うばかりです。

ロッカー利用の抽選

ロッカーの抽選で

ロッカー担当 河西松枝

公民館内にあるロッカーなどの利用権抽選が11月30日（金）に行われました。

サークルの皆さま～ん。ロッカー利用権、当選されましたか？公民館へ置いておけるなんて、便利ですよ～ん。重い物、サークル全体で使用する物、受け渡しがうまくできない時など、とても助かりますよ～ん。今年も抽選が終わりました。「来期使用するサークルのために、期日迄に中の物を持ち帰り清掃しておいて下さい」と懇談会でお願ひしました。でも残念ながら数サークルが、そのままでした。役員会で預かりましたが、どのサークルも財産が詰まっっていて、取り出すのに骨が折れました。ロッカーの表示も全て取り換えなくてはなりません。来期は、申し合わせ事は守りましょうね。どのサークルも気持ちよく使用でき、どなたが役員をしても楽にできるよう、お互いに気配りしましょう。

大掃除

年末大掃除のご協力お礼

健康レク 清水美恵子

恒例の年末大掃除が12月8日（土）に行われました。座間館長さんの「おはようございます。皆様のお家の大掃除同様、当公民館もよろしく」と短くご挨拶を頂きました。大勢の皆さんの一生懸命の作業で、殆どは小一時間程で館内、ホールはきれいになりました。料理室、茶室担当の方々には、他より多くご協力を頂きました。



参加された110サークル、215名の皆さん、ご協力有難うございました。担当、役員一同よりお礼申し上げます。

総会の案内

平成24年度の利用協総会を3月9日（土）午後1時30分より大会議室で開きます。ご参加をお願いします。